



両津中学校だより

教育目標「自律 躍動 協力」

No.75

TEL : 0259-27-2185

FAX : 0259-27-2186

E-mail : ryoutsu-js@sado.ed.jp

令和3年7月21日 発行

違いを乗り越える

校長 嶋見 靖之

今日で1学期が終わります。終業式では「いじめをしない」「新型コロナウイルス感染防止に努める」「目標に向かって粘り強く取り組む」ことに頑張った生徒を称えました。そして、「生命を大切に、事故や病気に気を付け、2学期元気に会いましょう」と呼びかけました。

また、23日から始まる東京オリンピック・パラリンピックについても話しました。

フランスの教育者であったクーベルタンはオリンピック精神を唱えました。それは「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍など様々な違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献すること」です。私は、日本と韓国の食事作法の違いを例に出し、文化・国籍など様々な違いを乗り越えるためには、相手のことをよく知ることが大事であると話しました。

先週2年生は、人権擁護委員の小橋徹膺さんから人権の授業をいただきました。そこで生徒は様々な境遇の中学生を疑似体験しました。生徒はその人物の立場や境遇を認識して、違いを認め合い、心の悩みや考え方の違いを学びました。「想像して」という小橋さんの働きかけに、「想像できない」と言いながらも諦めないで考える生徒、前向きにできない境遇を感じる生徒、そのような生徒がいることに気付く生徒がいました。共に生きようと互いを認め合うからこそ違いを乗り越えられるのだと思いました。オリンピック・パラリンピックの中で生徒が心に残る選手、心に残る試合に出会えることを期待します。

約1か月の夏休みが始まります。安全で充実した夏休みにできますようご家庭・地域での見守り、激励をお願いいたします。